

小田川区

＊要望書

	要望・質問事項	懇談会時における町の回答（措置・対応）	要望・質問に係る対応状況等
①	国道３４９号関係 ●下り線：字中坪付近、屯所前付近 ●上り線：藤田昭氏宅付近、法林寺入口付近、公民館付近 段差により深夜に空荷トレーラーが大きな音を立てる。安眠の妨げになる大きな音と振動が発生している。弥三郎内から大高まで路面が轍（わだち）になっており、雨の日には大型車等の水撥ねが酷く路面の改善を県に要望願いたい。	現地を確認したところ、国道349号小田川地内の路面状況は概ね良好と思われるが、所々に段差や轍、亀裂が発生している状況であります。要望内容のとおり段差が発生している箇所に空荷トレーラーが走行すると大きな音が発生していますので、轍や亀裂の状況を合わせて、今後、県南建設事務所との事業調整会議の中で舗装補修として要望を行いたいと思います。 【古市事業課長】	令和6年度において、福島県県南建設事務所との連絡調整会議で整備箇所として要望いたしました。
②	交通安全及び環境関係 ●東館山野井線国道１１８号のT字路交差点 東館山野井線から１１８号に出る際、カーブミラーはあるが目視により国道に出ることになる。国道に生えている桑の木が邪魔をし、目視できないため、停止線より前に出る必要がある。そのため、国道から町道に入る車としばしば睨み合いになる。桑の木が無ければ見通しがきくので伐採を県に要望願いたい。町道東館山野井から久慈川までの国道法面の雑草が酷い。除草はやっているがガードレール付近までで法尻まで道路管理者として除草を行い、環境の整備も合わせて県に要望願いたい。	【事業課】 現地を確認したところ、国道と町道の接続する丁字路、国道法面に樹木が自生しており、見通しが悪く車両の通行に支障を来し、危険でもあります。11/15（水）に棚倉土木事務所に現地案内を行い、法面全体ではなく、まずは樹木が自生している箇所を今年度中に伐採するとのことですので、よろしくをお願いします。 【古市事業課長】 【町民福祉課】 町道小田川・中央団地線から国道118号にでるT字路については、カーブミラーで確認の上、注意して安全に走行いただければと思います。右折の際に国道北側法面の木が目視の障害になるので、木の伐採を道路管理者である土木事務所に要望したいと思います。 【大森町民福祉課長】	令和5年度においてR118号法面の雑木について伐採を実施し完了しております。 【事業課分】 町道小田川・中央団地線から国道118号にでるT字路については、カーブミラーで確認の上、注意して安全に走行いただければと思います。右折の際に国道北側法面の障害になる木は、土木事務所により伐採済です。 【町民福祉課分】
③	河川土砂撤去 ●中坪沢の国道暗渠部分が土砂により断面の半分位まで埋まってしまっている。また、下流側も沢断面の半分以上堆積しており、台風等の時、暗渠が詰まってしまう懸念がある。暗渠より、上流（菊池憲夫氏宅付近）も堆積土砂がある。沢の流水断面確保の要望をします。	現地を確認したところ、国道３４９号の下流側、上流側と土砂が堆積し、特に下流側の断面が確保出来ていない状況であります。平成30年度に土砂撤去（下流側）を実施したところでありますが、今後の台風や集中豪雨等による被害防止として、土砂撤去を検討したいと思います。 【古市事業課長】	令和5年度にR349号から一級河川中川間の土砂撤去を実施しました。 令和6年度では、R349から東側河川土砂撤去を実施する予定です。

小田川区

＊要望書以外の要望

	要望・質問事項	懇談会時における町の回答（措置・対応）	要望・質問に係る対応状況等
①	法輪寺入り口から１０m置きにひびが入って草が生えている路面があるため全面舗装をしてほしい。	路面状況について現地を確認させていただきますが、各地から要望が多い案件ですので、優先順位をつけながら検討させていただきます。 【古市事業課長】	R6で舗装工事（部分的）の予算化をしております。
②	中山ため池の花壇の手入れを行っていますが、ごみのポイ捨てが目立ちます。待避所（旧国道）を閉鎖してもよいのではないか。もしくは、看板を設置してみてはいかがか。	【事業課】 旧国道の残地を道路利用者が休憩するために残した者と思われます。柵等を設置することは可能と思います。 【古市事業課長】 【町民福祉課】 マナー啓発のための看板設置を検討させていただきます。 【大森町民福祉課長】	同左 【事業課分】 マナー啓発のための看板を令和5年12月８日に花壇の後ろ側に設置しました。 【町民福祉課分】
③	農業従事者が高齢化しているので、４月の芽払いでは小田川地区は最後の方となっており、素掘りのため土砂上げもありますが、地主と耕作者が違うところでは集金も大変な状況となっています。町産業の中心は農業と思っており、作業が大変でもなんとか米を作っていますので、町の協力もお願いしたい。	町としても農業の省力化を図るため、農道の舗装や水路の整備などを行っておりますが、今後も農業者のために何かできるか考えてまいりたいと思います。 【古市事業課長】	懇談会での回答通り、農業者支援策を今後も検討してまいります。
④	国道349号と町道ニュータウン南線の交差点は、町道から出るときに太田から来る車が見えません。４年前の懇談会でも提案してもらいましたが、法面を削ることで見通しが良くなるのではないかと。	下り線は前に出れば見えますが、登り車線は車の頭を出すのも危ない状況と認識しております。信号設置の要望箇所でもあります。道路管理者である棚倉土木事務所長や担当課長も現地を確認しに来ており、ご提案のありました方法についても検討材料の一つとなっているようです。 【古市事業課長】	同左